

## 憲法9条に私は墨を塗らない

無職

(千葉県 81)

通常国会が始まった。安倍政権や自民党は、年内の憲法改正発議を目指しているという。安倍晋三首相も年頭記者会見で、「今年こそ新しい時代への希望を生み出すような憲法のあるべき姿を国民にしっかりと提示する」と述べた。

私は敗戦の1945年、国民学校3年生だった。秋のある日、児童は国語や算数、理科などの教科書と一緒に墨と筆を持って登校した。先生の言う通りに、教科書を開き、行を数えて指示された文章や言葉を黒く塗りつぶした。墨の下に消えた教科書のページには、

一生懸命に暗記させられた「大東亜共栄圏」や「鬼畜米英」「一億一心火の玉だ」「天皇陛下は神様」といった言葉があった。

その後私たちは「戦争をしない戦力を持たない平和な国、日本」という憲法をよりどころに、苦難を乗り越え、今日に至った。制定の経緯はどうあれ「人類の理想」を高く掲げた最高法規を誇りに思い、外国の人々からも羨望のまなざしが向けられた。このような憲法は世界中探してもなかったからだ。憲法は首相個人や一政党のものではない。私たち国民のものだ。憲法9条に私は墨を塗らない。そこに付け加えるものはない。